



長崎の平和から世界の平和へ アルミ缶で世界を救え！

報告者 長崎県長崎市立飽浦小学校 原 勝先生

ポイント

本校は、各学年1クラスの7学級（特別支援学級を含む）編成です。「えがおいっぱいの子ども」の学校目標の下、子どもたちは仲良く、元気いっぱいに学校生活を送っています。

本校の第5学年では、総合的な学習の時間に「平和」をテーマに学習を進めています。そこで、「平和」というテーマから「アルミ缶回収」に至った経緯と、子どもたちが実践した取組みについて報告いたします。

実 践

1. 「長崎の平和」から「世界の平和」へ

長崎市の5年生は、平和学習を深めるために、原爆資料館を見学します。その事前や事後の学習を通して、子どもたちは平和の大切さや命の尊さを学びました。その中で、子どもたちに芽生えた思いは、「自分たちにできることはないか」というものでした。調べ学習を進める中で、子どもたちは、現在も恵まれない生活を送っている人がいることを知りました。そして、世界の人々のために自分たちにできる活動を考えるようになりました。

2. きっかけは、「プルタブ」

自分たちにできることとして、「募金活動」と「収集活動」の2つの意見が出ました。話し合いで、2つの活動のそれぞれによさがあるということから1つにまとまりませんでした。そのとき、一人の子どもが「プルタブを集めて、車いすを寄付する」という取組みを紹介しました。「収集活動」が切手やはがきだけと考えていた子どもたちも、身近なもので取り組むことができることを、このとき初めて知ったのです。その後の調べ学習では、「アルミ缶がお金になる」ということが分かり、「アルミ缶を集めて、恵まれない生活をしている人たちにお金を送ろう」という目標を立てたのでした。

3. 3つの壁

アルミ缶を学校で回収するには、「集め方」「保管の仕方」「回収業者」の3つの壁がありました。そのためには、自分たちだけでなく、他の学級にお願いしたり、プリントを配付したりして、家庭に呼び掛けました。また、保管場所を確保してもらい、回収業者に月に1回集めに来てもらうことも依頼しました。子どもたちの取組に、関心をもち、協力してくださった多くの方々のおかげで、子どもたちの活動が実現しました。



4. お金とともに得た学び

アルミ缶回収は、子どもたちの予想通りには進みませんでした。始めは、各学級に呼び掛け、1か月間取り組んだ結果、集まったお金は400円でした。「やっぱり募金活動にすればよかったのでは」と考える中、一人の子どもが、「地域や環境のためになるし、続けていこう」と呼び掛けました。そして、頑張って続けているうちに、思わぬ出来事がありました。

始めは、本校の児童の家庭だけで集めていたものが、地域の人にも知れ渡り、協力していただけた方が現れました。また、回収業者の方が、子どもたちの活動を知り、通常よりも高いお金で引き取ってくださったり、リサイクルの仕組みについてまとめたものを作成して教えてくださったりしました。このような活動を通して、子どもたちは、お金では買うことができない「人とのつながり」を得ることができたのでした。



5. 子どもたちの感想

- ・私たちは、総合的な学習の時間に、世界には恵まれない生活をする人がいることを知りました。そこで、私たちはその人たちの役に立ちたいと考えました。話し合いの結果、世界の人々にお金を送るために、「アルミ缶回収をしよう」ということになりました。私たちは、1学期の終わりごろから当番を決め、1週間おきにアルミ缶を回収しました。集まった金額は決して多くありませんが、世界の人が幸せになるように使っていただけたならうれしいです。
- ・アルミ缶集めに向けて、放送をしたり、ポスターを貼ったりしたので、たくさん集めることができました。その結果、6月から今までアルミ缶を集め、重さは115キロ、金額は3550円になりました。こんなに集まるとは思っていなかったので、みんなで協力してよかったです。朝早く起きて集めるのはつらかったけれど、今ではとてもうれしいです。このお金を恵まれない生活をしている国へ送って、少しでもその国が幸せになればいいなと思います。

成 果

子どもたちのできる範囲の活動ですから、集まった金額は決して多くありません。しかし、「アルミ缶回収」を通して、たくさんの「人とのつながり」をもつことができたことは事実です。多くの人に支えられたおかげで、子どもたちは「人の役に立つことのすばらしさ」を学びました。第6学年となった現在では、「自分たちにできることは何か」を考え、朝の清掃活動を懸命に取り組んでいます。

これを機に、より一層、平和の尊さを大切にできる子どもたちに育ってくれるとうれしく思います。最後になりましたが、子どもたちの活動に対して御協力いただいた方々に、心より感謝いたします。ありがとうございました。

